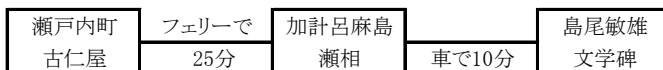


史跡

団体OK

季節・分野	通年型	見学	雨天時OK
タイトル	作家・島尾敏雄の文学碑、特攻艇「震洋」の史跡		
施設名	島尾敏雄文学碑（しまおとしお・ぶんがくひ）		
住所	鹿児島県 大島郡瀬戸内町呑之浦 (おおしまぐん・せとうちちょう・みのうら)		
電話	【瀬戸内町役場】0997-72-1111		
担当者			
ホームページ	なし		
場所 駐車場	奄美空港から瀬戸内町古仁屋まで車で1時間40分。 古仁屋から加計呂麻島・瀬相までフェリーで25分。 瀬相から島尾文学碑まで車で10分。 加計呂麻バスでは「呑之浦」下車、徒歩15分。 駐車場あり(10台)、バス駐車可。		
営業時間 定休日	特になし 特になし		
所要時間 料金	30分～45分 見学自由		
受け入れ人数	特になし 車イス用トイレあり		
内容・特色	<p>▽島尾敏雄(1917～1986年)(大正6～昭和61年)。 神奈川県生まれで、九州帝大を卒業後、海軍予備学生を志願。 1944年(昭和19年)海軍の震洋隊隊長として加計呂麻島に駐屯。 死を覚悟していたが、出撃直前に終戦。この時の体験が島尾文学の原点となる。 1955年(昭和30年)から1975年(昭和50年)までの20年間、奄美大島の名瀬で暮らす。 その間、「死の棘」「出発は遂に訪れず」などを発表する。</p> <p>▽1988年(昭和63年)、震洋隊の施設があった場所に島尾文学碑が建立された。 ▽2008年(平成20年)には島尾敏雄、妻・ミホ、娘・マヤさんの墓碑が建立された。</p> <p>▽近くには震洋艇の格納壕跡がある。 ▽格納壕の1つには映画「死の棘」撮影のために復元された震洋艇が保存されている。</p>		



格納壕跡に保存されている震洋艇(復元)



島尾敏雄文学碑。後方に墓碑がある
(ともに瀬戸内町・加計呂麻島)

奄美産業活性化協議会作成
(2016年現在)